



KODAWARI 02 子どもの創造力が 広がるアトリエ

一面の棚には、季節の自然素材やたくさんの画材。子どもたちは自由に入出し、素材を選び、「今つくりたいもの」を創る。自由が引き出す子どもの創造力は驚くほど豊か。



KODAWARI 03 心があつたまる トラットリア&レストランテ

スタンドガラス窓が美しいトラットリア&レストランテは温かい対話が生まれる場所。昼食では子どもが食べたい量を決めて保育士に伝える姿も。子どもの意思や気持ちを尊重する保育が表れている。

KODAWARI 01 不思議な形の のびのび空間

1階の広場やユニークな形のテラスは、身体を思いきり動かし、のびのび遊べる人気の場所。1階の広場から3階まで伸びる巨大スロープには、わくわくが満載!丸い窓から先生を見つけて手を振ったり、道の途中で恐竜を見つけたり。今日は何を見つけられたかな?木村先生の思い出が詰まった、一番のお気に入りの場所。



KODAWARI POINT

吹き抜けから差す光。空まで伸びるスロープ。オルトだから生まれるストーリーがある。



共立女子大学 卒業
2019年4月 入職

木村 倭子 Kimura Sachiko

琴を弾いていた経験があるという木村先生。「ひな祭り行事で演奏をさせてもらいました。職員の自分らしさも大切にしてもらええる自慢の職場です!」

Case 03 美しい曲線が描き出す物語

随所に秘められた 子どもから出発する保育への想い

新栄会の保育に一目惚れ
子ども主体へのこだわり

子どもから出発する保育を。そのこだわりが園舎の随所に光る保育園がある。新宿区にある社会福祉法人新栄会オルト保育園だ。ステンドガラスのようなカラフルな窓、ユニークな形のテラス、陽の光を感じる天窗。子どもの興味を引き出し、広げる工夫が散りばめられた園内を案内してくれたのは、柔らかな空気をまとった木村さん。「子ども主体の保育がしたい。その思いを胸に就活を進めていた頃、新栄会の『子どもから出発する保育』に一目惚れしたんです」

子ども主体の保育がしたい
想いが叶う園に出会えた!

「新栄会の保育は、一人ひとりを観察し、その子の視線、表情、言動から『この子は今、何に興味があり、何を考えているのだろうか』と保育士が考えをめぐらせながら気持ちに寄り添う、まさに子ども主体の保育。大人都合でなく、子どもたちがのびのびと過ごせるような保育がしたい。そう考えていた私の保育観とぴったり合いました」木村さんが惹かれた、新栄会の子ども主体へのこだわり。それは園舎にも、そして保育士の関わり一つひとつに現れているという。「まずは、わたしのお気に入りの場所です!」と木村さん。目に飛び込んだのは、吹き抜けの広場と巨大スロープ。

自然と成長する子どもたち
見守った思い出の場所

「このスロープ、ちょっとした工夫があつて。床や壁に母や恐竜のシールが貼つてあり、子どもの想像を膨らませてくれるんです。わたしは1年目に0歳、翌年もちあがりて1歳を担当したのですが、ハイハイで母をタッチして遊んでいたうちにだんだん登る力がついて…1歳の頃には頂上まで歩けるようになって!2歳になった今では『母5個も見つけた!』と報告してくれちゃいます(笑)無理に登らせたいことはないのに、楽しむ中で自然と成長していく過程を見守れた思い出の場所です」スロープを登った先にはトラットリア(ランチャーム)が。「子どもたちは、食べたい量を保育士に伝え、自分で食べる席を選びます。日常の中で、子どもが自分で決めて、選ぶ瞬間を大切にします。『新栄会らしいランチャームなんです!』

子どもの気持ちを第一に
ゆとりが生む温かい保育

最後に訪れたのはアトリエ。中央の机には、絵を描く子、お菓子箱で迷路を作る子。自由に制作を楽しむ姿が。「クラスで一斉に移動ではなく、制作をしたい子だけが集まり、一斉に同じものを創るより、その子の創りたいものを尊重する。棚いっぱい画材・素材に囲まれたアトリエの在り方にも、新栄会の保育が表れています」そんな個別対応を叶えるのは、配置基準を優に超える保育士数。「ゆとりある保育環境で、日々、子どもの気持ちや意思を第一にする。その関わりが、子どもが自分の気持ちを伝える力を育み、その力が、もつと子どもに寄り添った保育へと繋がっていく。そんな新栄会の保育が大好きです」ぜひ一度訪れてほしい。そう思わせる子どもへの想いが、新栄会の園舎と保育にはあつた。

社会福祉法人新栄会
(取材園:オルト保育園)

法人情報

東京都新宿区
百人町3-21-14
(本部事務局)
☎03-3360-4082
設立:1930年5月



求人情報はこちら

新宿で保育園3園、認定こども園1園、学童クラブ・児童館を運営。「子どもから出発する保育」を掲げ、子どもが自ら考え、やってみたいと思うことを尊重する保育を実践。子ども中心の保育実現のため、手厚い職配置や協働体制で、子どもとゆとり関わる環境を整備。

オンライン
園見学

オンライン
説明会

オンライン
相談会